

台風21号災害 アンケート 結果

(意見まとめ)

① 災害が起きて感じたことを教えてください。

初めての大規模災害がまさか自分たちの街で起こるとは想像もしておらず、命の危険を感じるほどの災害はたいへん恐ろしく、自然災害の脅威を感じた。

災害が他人事ではないと感じ、発生時は親族や知人などの安否が気にかかるばかりであったが、こんな時こそ助け合い、人を思いやり行動することが大事だと感じ、町内や祭礼団体を中心に瓦礫の撤去など街全体が連携しあい助け合える地域の繋がりは非常に良いと感じた。

今後災害が発生した際は、マニュアルなどに捉われず地域が連携し、臨機応変に対応できる力を備えることも必要であると考えます。

② 住まわれている地域での被害にはどんなものがありましたか。 又、実際に被害を受けましたか。

- ・ 住宅被害（停電、断水、雨漏り、屋根や壁のめくれ、ガラスの破損、瓦が飛んでき、屋根や天井に穴が開いた。カーポート・門・シャッター・ソーラーパネルが飛んだ。）
- ・ 職場の被害。
- ・ 交通の麻痺
- ・ 車の被害（飛散物や車体の転倒）

③ 地域のリーダーとして行動できたことはありますか。

町内では被害状況の確認、瓦礫撤去、道の復旧作業を行う事が出来た。

また住宅にはブルーシートの配布や屋根の応急処置、高齢者の安否確認を行う事が出来た。

ただ身近な家や会社を守る事で精一杯で、リーダーとしての行動が出来なかった人も多かった。

④ JC として、地域への発信又は行動することの必要性は、あると思いますか。又、どんなことができると思いますか。

災害直後の活動は、それぞれの家族や近隣があるので難しい所ではあるが、SNS 等での被害状況や支援の情報の発信はすることができる。

また、普段から物資の確保や災害に備えた活動、ネットワークづくりを行い、災害時には、市や他団体と連携を図ることにより、市民に頼られるような団体になるべきである。

被災後、復旧作業にはとても時間がかかる為、JC としてボランティア活動を行い、時間が経過した際も被災した経験を忘れず、情報を発信し、メンバー各自がリーダーとなり、行動する必要がある。

⑤ 今後起きるかもしれない災害(台風・地震・水害等)に向けて、できることはあると思いますか。又、どんなことができると思いますか。

- ・ 自然災害をなめずに、災害に対応できる地域づくりや、日頃の防災意識を高める活動。
- ・ 事前の備え（物資の備蓄、防災用品の準備、募金や資金調達）
- ・ 岸和田青年会議所内に、地域の災害ネットワークに繋がるチームの作成。可能なメンバーで動ける体制を作る。
- ・ 市からの要請を受け、社協や行政ともタッグを組んで活動する
（がれきの撤去、他団体との連携、情報の連携、台風の場合危ないお宅を訪問

⑥ その他、感想など、ご自由にお書きください。

このたびの台風 21 号の被害に遭われた方に心よりお見舞い申し上げます。

この台風を経験して、まさか自分の街が被災するとは夢にも思わず、何も行動できずにいました。

この経験を活かし、直ぐに逃げ出せるように日頃から非常持ち出し袋（備蓄水や非常食）を用意しておく。災害に対する意識を高めておくと同時に知識として頭に入れておくこと、防災の強化、また JC のネットワークを活かして各方面への連絡の窓口となること。

このような課題をもう一度見直していくべきだと考えます。

以上

2018/9/24 人財育成委員会